

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2017年5月18日

PRESS-17-10

ノボ ノルディスク、糖尿病治療薬に関する研究 15 件を第 60 回日本糖尿病学会 年次学術集会で発表

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社(代表取締役社長:オーレ ムルスコウ ベック、本社:東京都千代田区)は、第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会(会期:2017年5月18日~20日、開催地:名古屋)で、2型糖尿病の適応症で製造販売承認申請中の週 1 回投与の GLP-1 受容体作動薬セマグルチドについてのデータ 9 件、持効型溶解インスリンアナログ製剤 トレシーバ®(インスリン デグルデク)3 件、開発中の Faster-acting insulin aspart 3 件、全 15 件の口演・ポスター発表を行うことをお知らせします。

以下に、発表される研究の件名を紹介します。

[トレシーバ®]

5月18日 8:30-9:30 口演

- I-17-3 SWITCH2 試験:2 型糖尿病患者において、インスリン デグルデクはインスリン グラルギン U100と比較して低血糖発現リスクを低減する

5月18日 18:00-18:25 ポスター

- I-P-627 SWITCH1 試験:1 型糖尿病患者において、インスリン デグルデクはインスリン グラルギン U100と比較して低血糖発現リスクを低減する

5月20日 16:50-17:20 ポスター

- III-P-183 インスリン デグルデク(IDeg)の長期使用に関する特定使用成績調査における中間解析の結果

[セマグルチド]

5月18日 17:30-18:00 ポスター

- I-P-25 Once-weekly semaglutide in type 2 diabetes: cardiovascular outcomes, efficacy and safety (SUSTAIN 6)

5月19日 13:00-14:00 口演

- II-20-1 日本人 2 型糖尿病患者を対象とした週 1 回セマグルチド単独又は経口薬との併用療法の安全性・有効性の検討—経口薬追加との比較
- II-20-2 セマグルチドの週 1 回投与とシタグリプチンの 1 日 1 回投与による有効性及び安全性の比較検討(SUSTAIN 2)
- II-20-3 Semaglutide efficacy and safety vs daily insulin glargine in insulin-naïve subjects with type 2 diabetes (SUSTAIN 4)
- II-20-4 Semaglutide, once-weekly, efficacy and safety vs exenatide ER in subjects

お問い合わせ先

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル

Tel: 03-6266-1700
Fax: 03-6266-1801

ウェブサイト:

www.novonordisk.co.jp
www.novonordisk.com

with type 2 diabetes (SUSTAIN 3)

- II-20-5 2 型糖尿病におけるセマグルチド週 1 回投与によるプラセボ対照単剤療法の有効性及び安全性の検討(SUSTAIN 1)
- II-20-6 Basal インスリンで治療中の 2 型糖尿病患者における, セマグルチド週 1 回投与の有効性・安全性の検討(SUSTAIN 5)

5月20日 10:15-11:15 口演

- III-5-13 日本人 2 型糖尿病患者を対象とした週 1 回投与セマグルチドと 1 日 1 回投与シタグリプチンの単独療法における安全性及び有効性の検討

5月20日 16:50-17:20 ポスター

- III-P-7 健康な日本人および白人被験者における semaglutide 週 1 回投与の薬物動態および安全性

[Faster-acting insulin aspart]

5月18日 10:30-11:30 口演

- I-17-13 Faster-acting insulin aspart の投与後初期の血糖低下作用は日間の個体内変動が小さく一貫性が認められた
- I-17-14 臨床使用用量において faster aspart は IAsp と比較し初期インスリン曝露量と血糖降下作用が大きい

5月20日 16:50-17:20 ポスター

- III-P-182 1 型糖尿病高齢者・若年者において faster aspart は IAsp と比較して初期インスリン曝露量と血糖降下作用が大きい

常務取締役 開発本部 本部長の杉井 寛は次のように述べています。

「今年の糖尿病学会年次学術集会で、15 件の研究成果の発表を行うことができ嬉しく思います。トレスイーバ®については低血糖発現リスクに焦点をあてた治療オプションの参考になるデータであり、また、セマグルチドの日本人の臨床データ 3 件および faster-acting insulin aspart の海外の幅広い臨床薬理試験データは今回初めて日本糖尿病学会で発表されるものです。当社の製品および開発品が、糖尿病治療および患者さんの QOL 向上に今後も引き続き貢献できることを期待しています」

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社は、デンマークに本社を置くグローバルヘルスケア企業であるノボ ノルディスク社の日本法人です。ノボ ノルディスク社はインスリンの発見から間もない 1923 年にインスリンの製造販売を開始し、以来 90 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品やデリバリーシステムの開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。また、糖尿病に加え、成長ホルモン療法および血友病においても、それぞれの製品領域をリードしています。ノボ ノルディスク社は現在 77 カ国に約 4 万 2,000 人の社員を擁し、製品は 165 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立され、それぞれの製品領域をリードしています。